

てんとうむし

巻頭言

『さがそうみらいプロジェクト』がめざすもの

相模原市教育委員会学校教育部長 農上 勝也

6月に、市内小学校で行われている音楽鑑賞会の様子を参観しました。4年生以上の全児童が体育館に集まり、「神奈川フィルハーモニー管弦楽団」の素晴らしい演奏を熱心に聴いている様子や、「アンコール、アンコール」の大きな掛け声を聞き、コロナ禍で様々な制約があった3年間を経て、教育活動が新たなスタートをきったことを実感しました。

当该校にお願いして、児童の感想を教えてくださいました。「鑑賞会を通して、ぼくも他の人に音楽の楽しさを伝えられる存在にいつかなってみたい」、「今回の鑑賞で演奏に興味を持ったので、中学生になったら音楽系の部活動に入りたいと思いました」、「指揮者なしで演奏するのは大変なこと。相手を信じないとできないことだから、相手を信じることを学びました。」など、音楽そのものの感想だけでなく、いろいろなことを感じ取ったことがわかりました。また、演奏後に行った演奏者への質問からも、子どもたちが自分の経験や夢と重ね合わせながら演奏を聴いていることや、学校がねらいを明確にして行事を設定していることが伝わってきました。

令和2年3月に策定された第2次相模原市教育振興計画では、「共に認め合い 現在

と未来を創る人」を目指す人間像とし、未来を切り拓く力を育むキャリア教育を進めています。相模原市のキャリア教育を「さがそうみらいプロジェクト」と名付け、令和3年度から全市的な取組がスタートし、今年度で3年目を迎えています。

本市のキャリア教育推進委員会には、キャリア教育の第一人者である筑波大学の藤田晃之教授や大学駅伝監督としてもご活躍されている青山学院大学の原晋教授をはじめ、市内関係団体や校長会など多くの方に委員としてご参加いただき、本市キャリア教育を推進するにあたって、貴重なご意見をいただいています。先日の会議では、藤田教授から、「相模原は日本を代表するキャリア教育の推進地域」という大変うれしいお言葉をいただきました。

各学校では中学校区で連携を図りながら、教育活動をキャリア教育の視点で捉えて、意図的・効果的な様々な取組が行われています。学校・地域・保護者・関係機関の皆様と、「本市の子どもたちが、夢や生きがいをもって豊かな人生を送るために、何ができるか」という思いを共有しながら、夢や希望をもって未来を切り拓く力の育成を図っています。

特集記事：「チャレンジ!online!!～ICT活用の新たな試み



チャレンジ!online!! ～ICT 活用の新しい試み～

青少年相談センターが行っている事業の一つに「チャレンジ教室」があります。不登校や登校しぶりをはじめ、集団で活動することが苦手な子どもたちを対象に、モノづくりやゲームなどさまざまな体験活動を行っています。このチャレンジ教室のオンライン版として開催されている『チャレンジ!online!!』を今回は特集していきます！



バーチャル空間に入るために必要なもの

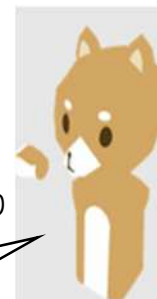
- インターネットにつながる端末を用意します。

お家にあるパソコンやタブレット、スマートフォンから参加できます。もし、学校に一人1台配備されているChromebookがあれば入ることができます。※アバターの操作はキーボードがある方が便利かもしれません。

“アバター”となってバーチャル空間を楽しめます！

『チャレンジ!online!!』は、オンライン上のバーチャル空間「NTT DOOR」を使って活動します。参加者は全員「アバター（自分の分身）」となって、このバーチャル空間内に飛び込みます。そのため、自分の顔や名前がオンライン上に出る心配はありません。アバターは自分の好きなものを選んで、好きな名前を付けてもらいます。また、バーチャル空間ではマイクではなく、チャットを使ってやりとりを行います。

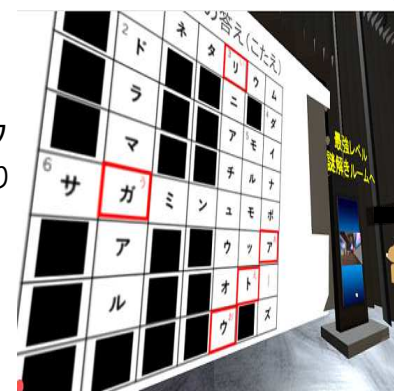
アバターの一例です
自分で操作して動かします



このようなイベントを実施しています

これまでにクイズ大会（相模原にちなんだクイズなど）や謎解きを行いました。また、しりとりやバーチャル上のもの探し体験を通して操作練習もできるので、初心者でも安心です。

全員のアバターがバーチャル上を縦横無尽に動いて活動し、盛り上がりました。



『チャレンジ!online!!』では、チャレンジ教室のように対面で活動することを苦手と感じる子どもたちでも、「アバター」を介してバーチャル空間ならではの方法で互いの気持ちを伝えあい、交流を楽しんでいました。ぜひ体験にご参加してみてください。

【開催予定のお知らせ】 次回は 9月30日(土) 10:00～11:00

「不登校を考えるつどい」「チャレンジ!若あゆ」報告

不登校を考えるつどい

5月13日、青少年相談センターにて第1回「不登校を考えるつどい」を開催しました。「不登校についての理解」というテーマで、講話やグループ別の話し合いを行いました。参加された方からは「共感できる方とたくさん話せて良かった」等の感想が寄せられました。また、6月17日、6月23日、6月24日には、「さまざまな進路選択や学びの場」をテーマに、第2回の「つどい」を各区で開催しました。公立高校の入学選抜制度の改訂もあり、進路に向けての関心の高さがうかがえました。市内フリースクールの職員の方からも情報提供をいただくことができました。参加者の感想からも本格的に進路を考える上で、情報を整理することで選択肢を広げることができたという声をいただきました。今後も参加された方々にとって有意義な情報交換の場としての「つどい」にしていきたいと思っております。多くの方々のご参加をお待ちしています。

第1回チャレンジ!若あゆ

今年度も、不登校や登校しぶりのある児童生徒を対象としている「チャレンジ!若あゆ」を実施しました。様々な体験や制作を通して、周囲の仲間とコミュニケーションを図り、達成感を味わえる活動として、子どもたちがとても楽しみにしている取組です。

1回目の7月8日は、3つのグループに分かれて体験を行いました。

①花や玉ねぎの皮を用いた自然の染め物、②杉を焼いて飾り付けする焼杉、③ボールの代わりにディスクを使ったディスクゴルフから希望した体験活動を通して、仲間と協力したり、作品を見せ合ったりして、声を掛け合って楽しみました。第2回は11月3日を予定しています。いつもとは違う雰囲気、仲間と一緒に体験活動にチャレンジしてみませんか? ご参加をお待ちしています。



「ほっとひとこま」

その17

青少年教育カウンセラーとスクールソーシャルワーカーが、日々の心温まるひと時について教えてくださいました。



相談室では、さまざまな思いを抱えて来室する子ども・保護者の方と出会いますが、私が「いつもカウンセラーとして軸にしていること」があります。それは「子どものことを知る」ということです。悩みごとだけでなく、何が好きなのか、日々どんなことを感じているのか等、複数の視点から知ることを大切にしています。

学校現場では、先生方や保護者の方とチームになって子どもの支援をすることができます。私は、チームになることでカウンセラーだけでは見えなかった視点を持ち、よりよい支援につなげることができると思っています。同じ方向を向いて支援していく、その一員としてお手伝いできれば嬉しいです。

(青少年教育カウンセラー)

スクールソーシャルワーカーとして支援していて嬉しい瞬間は小さな笑顔が見られた時です。不登校の支援をしていると、大きな変化がある事ばかりではありません。そのような中で、面談した保護者の方がお子さんの嬉しい変化を報告してくれる時は自然と笑みが浮かんでいますし、こちらも笑顔になります。

日々悩まれているお子さんや保護者のみなさんの気持ちに寄り添っているだろうか?と自問自答する日々の中ですが、支援の中での小さな変化に次の変化のきっかけを見つけていくように心がけています。子どもたちはもちろん、周囲の大人たちの安堵する姿が見られたら嬉しいですね。

(スクールソーシャルワーカー)

一人で悩まないで!!



19才以下の人とその保護者
〈匿名でもOK!! 土曜日も受け付けています〉
Eメール相談 yantele@city.sagamihara.kanagawa.jp
(24時間受け付けていますが、返信には数日かかります)



電話相談受付

月～金 15:30～21:00
土 13:00～17:00
(祝日を除く) 最終受付: 終了15分前

湘南都市 さがみはら
ヤングテレホン
相談
042-755-2552

Eメール相談
(24時間受付)

